

化学消防車  
仕様書

佐野市

## 第1章 総則

### 第1 目的

この仕様書は、佐野市（以下「当市」という。）が購入する化学消防車（以下「車両」という。）の艤装、性能及びその他製作に関する必要な事項について定める。

### 第2 適合法令

- 1 道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）
- 2 道路運送車両の保安基準（昭和26年7月28日運輸省令第67号）
- 3 「消防車両の安全基準」（平成19年5月14日消防消第80号）
- 4 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成4年法律第70号）
- 5 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年10月15日自治省令第24号）
- 6 緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号）
- 7 その他関係法令等

### 第3 契約

- 1 契約にあたっては、本仕様書の不明な点を事前に当市へ質疑し、内容を熟知のうえ、了承して締結するものとし、契約以降の質疑については、当市の解釈又は判断に従うものとする。
- 2 当市と受注者が協議した後、製作工程表を作成し、当市の承認を受けた後に製作すること。また、やむを得ない事由の発生により、本仕様書又は承認図書の内容を変更する必要があるときは、必ず事前に当市へ連絡し、必要な指示を受けるとともに、その内容について双方が確認書等を取り交わすこと。
- 3 設計及び製作にあたっては、特許その他の利権上の事項に十分に注意し、支障が生じた際には、受注者においてその責任を負うこと。

### 第4 承認図書

受注者は、車両の製作に先立ち、当市と十分な打ち合わせを行い、艤装設計の承認のため、次に掲げる内容を満たす承認図書をA4版ファイルに綴り、3部提出するものとする。

- 1 製作工程表（中間検査、完成検査の予定日を明記すること。）
- 2 艤装外観図（車両前後、両側面及び平面図の5面図）
- 3 車体骨組図
- 4 シャーシ組立図
- 5 シャーシ諸元明細書
- 6 キャビン架装図
- 7 動力伝達装置関係図
- 8 電気系統図及び配線図
- 9 積載資機材の配置図
- 10 積載資機材重量一覧
- 11 外注先一覧表（品名、会社名、所在地、及び連絡先）
- 12 その他当市が必要とする書類

## 第5 完成図書

受注者は、完成した車両を納入するにあたって、次に掲げる内容を満たす完成図書をA4版ファイルに綴り、3部提出するものとする。

また、外国製品を艤装または積載した場合は、慣例的に用いる外来語を除き、言語表示はすべて日本語とすること。

- 1 自動車検査証
- 2 自動車損害賠償責任保険証書
- 3 艤装完成図（5面図）
- 4 シャーシ、エンジン点検書
- 5 自動車改造計算書
  - (1) 艤装重量、車両重量及び車両総重量の加重分布計算書
  - (2) 最大安定傾斜角度計算書
- 6 車両取扱説明書
- 7 車両装備品取扱説明書
- 8 特殊装置の取扱説明書
- 9 各種資機材取扱説明書
- 10 受託試験合格及び安全基準適合プレート写し
- 11 パーツリスト
- 12 各種保証書
- 13 製作作業工程写真及び完成写真
- 14 緊急自動車届出書
- 15 納品内訳書
- 16 装備品・取付品・付属品一覧表（品名、数量、会社名、所在地、及び連絡先）
- 17 指定サービス工場一覧表
- 18 写真及びデータ
- 19 その他当市が指示するもの 必要数

## 第6 検査

### 1 中間検査

当市と受注者の協議により決定した日時及び場所において、受注者及び製作者立会いのうえ、次の事項について検査を行う。

- (1) 製作工程表との照合
- (2) 艤装承認図及び必要な図面との照合
- (3) 艤装・架装の施工状況

### 2 完成検査

製作完了後、当市が指定する日時及び場所において、受注者及び製作者立会いのうえ、次の事項について行う。不備事項又は不合格品があると認める場合は、当市の指示する日までに改修又は交換を行い、再検査を受けるものとする。

- (1) この仕様書に定める一切の照合
- (2) 装備品及び付属品の機能・性能検査
- (3) 前項の他、当市が指示する事項

### 3 納入検査

栃木運輸支局の車両登録後に、当市が指定する納入場所において、受注者及び納入業者立会いのうえ、次の事項について行う。

- (1) 各種検査証
- (2) 関係書類の照合
- (3) 資機材の規格及び数量
- (4) 装備品及び付属品の機能・性能検査
- (5) 前項の他、当市が指示する事項

### 第7 保証

車両の保証期間は納入の日から起算して1年間、資機材の保証期間はメーカー指定の保証期間とし、保証書を提出すること。ただし、保証期間を問わず、設計、製作、材料の不良に起因する不具合の発生については、受注者において無償で修理又は取替え等を行うこと。

### 第8 車両の登録

納車完了までの費用は全て受注者の負担とし、自賠責保険、車両重量税及びリサイクル料金については、当市の負担とする。

### 第9 納入 納入台数

- 1 納入台数 1台
- 2 納入期限 令和10年1月31日(月)
- 3 納入場所 栃木県佐野市富岡町1391番地 佐野市消防本部

### 第10 取り扱い説明

受注者は、当市が指定する場所において、取扱い及び保守管理について専門員を派遣し説明を行うこと。なお、派遣に対する諸経費の一切は受注者が負担するものとする。

### 第11 その他

- 1 車体本体、艀装材料及び資機材等は、すべて新規製品とし、車体は、艀装開始前3ヶ月以内に製造されたものであること。
- 2 本仕様書に明記されていない装備品等については、純正品として製造元が公認する物品等が装備されていること。
- 3 資機材等が、廃番又は型式変更をした場合は、型式変更後の製品又は同等品を納入すること。なお、納入時において最新型の製品とすること。

## 第2章 車両の規格及び仕様

### 第1 車両の概要

車両の構造は、振動及び衝撃等に十分耐え得るものとし、緊急時の使用条件に対して、安全かつ高い安定性を保持するものであること。

### 第2 全般仕様

#### 1 一般事項

仕様に定める、装備品・取付品・艤装にあつては、産業標準化法（昭和24年法律第185号）に適合するもの又は同等以上の強度及び耐久性を有するほか、防錆及び防水性を図り堅牢な材料を用いること。

なお、詳細な取付け位置、方法等は契約後当市との協議により決定する。

#### 2 使用材料及び材質

使用される材料及び部品は、日本産業規格品を使用すること。また、耐久性、難燃性、耐油性に優れ経年劣化の少ないものとし、必要に応じて防食処理が施されたものであること。

#### 3 標準取付品

標準取付品及び装備品が重複するものについては、当市と協議し除くことができるものとする。

#### 4 電装品

(1) メイン電源を入・切できる装置を設けること。

(2) バッテリーは、保守点検が容易に行えるように設置し、配線の長さはバッテリー引き出し作業を繰り返しても緩まない構造とする。また、灯火類及び全ての機能を同時に使用しても維持できる容量を有すること。

(3) オルタネーターは、車両バッテリーを電源とする全ての機能をアイドリング状態で同時に使用しても賄える発電量を有すること。

(4) 無線妨害措置として各電装品は、電波障害の発生しないものとする。

(5) 電気配線は次のとおりとする。

ア 各配線及び電装品端子等は、燃料配管及びブレーキ配管との接触を避け、振動及び接触により短絡しない構造とするとともに、水の影響を受ける場所の端子は防水処理を施し、熱の影響を受ける可能性のある部品は、断熱処理を施すこと。

イ 配線等が貫通する部分及び摩耗等がある部分は、摩耗防止処理を施すこと。

ウ 各配線は、絶縁性に優れ、長さに余裕のあるものを色分けして使用すること。

エ 各電装品は、各ヒューズボックスに接続し名称及びアンペアを記入すること。

オ 増設ヒューズは、CAN通信方式の自動復旧方式とすること。

カ ボンディングアースを必要箇所に取り付けること。

#### 5 その他

製品の変更については、同等以上の製品であり、当市の承認を得ること。

### 第3 シャーシ

#### 1 諸元及び性能

(1) 乗車定員	5名以上
(2) 全長	7,500mm以下
(3) 全幅	2,400mm以下
(4) 全高	3,500mm以下
(5) 車両総重量	12,000kg以下
(6) エンジン	ディーゼルエンジン
(7) 変速機	マニュアル
(8) 駆動方式	四輪駆動
(9) ステアリング	パワーステアリング
(10) タイヤ	ラジアルタイヤ (スペアタイヤ含)
(11) ホイール	アルミ製

#### 2 装備品及び取付品

別表1に掲げるほか、次のとおりとする。

(1) バッテリー	24V-100AH以上
(2) オルタネーター	24V-90A以上
(3) キャブチルト	電動油圧式 (手動操作可能)
(4) オイルパンヒーター	10mコードマグネット式
(5) 全自動バッテリー管理器	10mコードマグネット式
(6) エアコン	
(7) 後退警報機	音声合成
(8) 前照灯	LED
(9) 方向指示灯	LED
(10) 霧灯	LED
(11) 後退灯	LED
(12) 後方灯	LED
(13) 制動灯	LED
(14) 路肩灯	LED
(15) 車幅灯	LED
(16) サイドバイザー	アクリルスモーク 2箇所
(17) サンバイザー	運転席・助手席
(18) 集中ドアロック	
(19) パワーウィンドウ	
(20) 電動格納ミラー	助手席側 (メッキ)
(21) サイドミラー	電熱線 (メッキ)
(22) 艀装メインスイッチ	ACCキー連動
(23) ナンバープレート枠	ステンレス製
(24) 泥除け	全輪

(25) カーナビゲーション	チューナーレス
(26) 周囲モニターカメラ	
(27) ETC車載器	ナビ連動
(28) ドライブレコーダー	
(29) オーバーヘッドコンソール	
(30) デジタル時計	電波式（キャブ内温度・湿度付）
(31) 油温計	
(32) 燃費計	
(33) エンジンアワーメーター	
(34) インフォメーションモニター	
(35) メインスイッチ	
(36) ITSコネクタ	
(37) その他	標準装備品及び機能上必要な物品

### 3 付属品

別表2に掲げるほか、次のとおりとする。

(1) フロアマット（ゴム製）	1式
(2) 標準工具	1式
(3) 非常信号用具	1式
(4) 車輪止め（中型ゴム製）	4個
(5) スタッドレスタイヤ（アルミホイール付）	1式（スペアタイヤ含）
(6) タイヤチェーン	1式
(7) リモコンキー	3個
(8) 予備キー	3個

### 第4 取付品及び取付装置

別表3に掲げるほか、次のとおりとする。

#### 1 赤色警光灯

- (1) キャビン上部に散光式警光灯を取り付けること。
- (2) 点滅式赤色警光灯をフロントグリルに4箇所、フロントバンパーに4箇所、車体両側面上部に各3箇所、車体後部左右に2箇所以上取り付けること。

#### 2 作業灯

- (1) バータイプ作業灯を、車体側面左右上部に各2箇所取り付けること。
- (2) 作業灯を、車体後部に4箇所取り付けること。
- (3) 各作業灯のスイッチを必要箇所に取り付けること。

#### 3 標識灯を車両上部に取付け、スモールランプと連動すること。

#### 4 電子サイレンアンプ

右左折後退時に音声で警告する機能を有し、散光式赤色警光灯及び電子サイレンと連動したものを、運転席及び助手席から容易に操作できる位置に取り付けること。

## 5 電動サイレン

連続吹鳴及びウェーブ吹鳴機能を有し、操作ボタンにあつては助手席から容易に操作できる位置に取り付けること。

## 6 集中スイッチ

艀装各部の電装スイッチは、機能集中型操作スイッチとし、運転室の操作しやすい位置に機能区分を表示し設けること。

## 7 LED式サーチライト（伸縮旋回俯仰可能型）

リモコン操作可能であること。

## 8 外部電源入力装置

フロントバンパー側付近に、車体埋込式のマグネットタイプ外部電力入力コンセント（蓋付）を設けること。

## 9 AC100V コンセント（インバーター1,500W以上）

室内に2口2箇所、車外（脱落止め・雨蓋付）に2口4箇所取り付け、使用可能電力量等の表示をコンセント取付部に明記すること。

## 10 消防章

## 11 はしご昇降装置

車両上部にはしご昇降装置（自動式昇降装置）を設けること。なお、三連はしご、かぎ付はしご、長尺ノズルを同時に昇降させ積載器具が取り出せる構造とすること。

## 12 放水銃

車体天井に起伏旋回可能のレバー式放水銃を設けること。

## 13 旗立て（ステンレス製）

1箇所取り付けること。なお、旗竿が蝶ネジ等で固定できる構造とすること。

# 第5 キャビンの艀装

## 1 外装

(1) フロントバンパー上部をアルミ縞鋼板で覆い、シャックル（強度2トン以下）2個を左右対称に設け、許容荷重を表記すること。

(2) 各乗降口には、アルミ縞鋼板のステップを設けること。

(3) ステンレス握り棒を各乗降口付近に設けること。

(4) フロントガラス上部及び下部にステンレスの取っ手を設けること。

(5) 荷台部左右に自衛噴霧装置を設けること。

(6) 運転席及び助手席の昇降部にキッキングプレートを取付けること。

(7) 上部にキャブ一体型アルミ縞板製のルーフデッキを設けること。また、ルーフ上の耐荷重等の情報を発注者に書類提出すること。なお、ルーフデッキに耐荷重50kg以上の支点リングを8個設け、デッキ上に荷重を標記すること。

## 2 内装

(1) 運転席と助手席上部に、収納ネットを2箇所取り付けること。

(2) 運転席と助手席の間に、コンソールボックスを設けること。

- (3) 座席は、良質ビニールレザー張りとし、防汚シートカバーを設けること。
- (4) 後部にパンチメタルを設置しS字フック（脱着式）5箇所を取り付けること。
- (5) 運転室内に収納棚を設け、積載資機材の充電が可能な構造とすること。
- (6) ルーフリアコンソールを設け、底板にフックを掛けるパンチ加工を施すこと。
- (7) 運転席、助手席、後部席にマップランプを取り付けること。
- (8) 運転席及び助手席ドアにフットランプを取り付けること。
- (9) 後部席用大型LEDルームランプを取り付けること。
- (10) 運転席と助手席の間にセンターコンソールボックスを設けること。
- (11) 電子サイレンアンプ、AVM装置、各操作スイッチ等は、前席中央部キャブ内に設けること。なお、電子サイレンアンプの音声合成については当市指定のものとする。
- (12) 前席及び功績に広報用マイクジャックを設けること。
- (13) 車載式受令機用マイクジャックを設けること。
- (14) 後部席に空気呼吸器内臓シートを3席設けること。各席の間には棚を設けること。
- (15) 後部席にモーターサイレンスイッチ及び広報用マイクを設けること。
- (16) 充電用100Vインバーター（1,500W以上）を取付け、2口蓋付コンセント（USB電源付）を2箇所に設けること。
- (17) 誘導灯（誘導棒）ホルダーを2箇所設けること。
- (18) すべての各シャッター、収納庫、ホースカー、三連はしごの開閉状態を、車両室内で確認できるよう車両状態表示を設けること。なお、扉等開放状態でサイドブレーキを解除した場合に警報音を発すること。
- (19) 床面から天井までの高さは、1,800mm以上確保すること。
- (20) 後部席用吹き出し口を設けること。

## 第6 車体の艤装

### 1 車体の構造

- (1) 車体の構造はキャビン側からポンプ操作室、水槽、収納庫の順とし各々の間は限界まで近づけること。また、デパーチャーアングルを可能な限り大きくすること。
- (2) シャッターはアルミ合金製（手動式）とし、引き下げ補助ベルトを取り付けること。また、各扉には安全ロックを設けること。
- (3) 上部及びステップ類は、すべてアルミ縞板を使用し、滑り止めを施すこと。
- (4) 車両の骨組みや鋼板の端末及び切断面は、面取りを施し、内外装のボルト等の飛び出し部には、袋ナット及びゴムキャップ等の保護をすること。
- (5) 燃料タンク（油種及び容量表示付）は、「給油口」と銘板にて表示すること。
- (6) 手摺り及びステップは、昇降及び作業上必要となる箇所に設けること。
- (7) 上部に消防用吸管が収納できるアルミ縞板ボックス及び足元灯を取り付けること。
- (8) キャブとポンプ室の間に昇降用梯子を左右各1箇所取り付けること。
- (9) 昇降時に靴がボディに接触する場所には、保護材を設けること。

## 第7 ポンプ操作室

- 1 扉は上部を手動のアルミ製ハンドル式シャッター、下部を展開ステップ式とし、開閉に連動した照明を取り付け、扉のサイドに黄色の反射テープを張り付けるとともに3面にLED式ステップ灯を埋め込むこと。
- 2 主ポンプの回転調整装置は、無段階で微調整ができるギア式回転ハンドルとし、左右どちらでも同方向に回転するものとする。なお、PT0を入れた時のみ操作可能であること。
- 3 吐出口は65 mm ボールコックとし、両側に各2箇所設けること。
- 4 吸水口は75 mm ボールコック（ストレーナ付き）とし、両側に各1箇所設けること。  
左側は75 mm自在型エルボを取り付け、右側はネジ式の蓋を設けること。
- 5 中継口は65mm ボールコック（ストレーナ付き）とし、両側に各1箇所設けること。
- 6 排水用のバルブを両側に設けること。
- 7 エジェクターバルブ、冷却水バルブを両側に各1箇所所設けること。
- 8 冷却水装置は冷却水還流装置とし、冷却水を外部へ放出せず、水槽へ還流させること。  
また、自然水利を揚水した場合、水槽へゴミが侵入しないようコック操作により外部へ放出できる構造とすること。
- 9 グランド部はグリスレスのメカニカルシールとし、軸先端部もグリスレスとすること。
- 10 各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び流水状況を表示すること。
- 11 操作状況を確認できるモニターを取付けること。
- 12 薬液混合調整ダイヤルを両側に各1箇所設けること。
- 13 ポンププロポーショナーを両側に各1箇所設けること。
- 14 送水バルブ、洗浄バルブを両側に各1箇所設けること。
- 15 計器灯を両側に必要数設けること。
- 16 不凍液注入装置を両側に各1箇所設けること。
- 17 シャッター内に軽量型ソフト吸管（呼称75 mm×10m）を取り付け、吸管が干渉する部分にはアルミ縞鋼板の保護シートを張ること。
- 18 点検口をポンプ室上部及び左右に設け、内部点検用の照明灯を設けること。
- 19 上部に収納庫を設け、左右貫通構造でストッパー付き落下防止柵を取り付けること。また、上部に防火衣や資機材等を掛けられる着脱式のバー及びフックを設けること。
- 20 各計器類
  - (1) 圧力計（リタード式） 左右各1個
  - (2) 連成計（リタード式） 左右各1個
  - (3) 流量計 左右各1個
  - (4) 積算流量計 左右各1個（積算リセットはマニュアル）
  - (5) 揚水装置 左右各1個
  - (6) 非常用真空操作スイッチ 左右各1個
  - (7) 管式水槽水量計 左右各1個（メモリ・フロート付）
  - (8) デジタル水量計 左右各1個

## 第8 水槽

- 1 水槽の艀装材料は、厚さは側板 4.0mm 以上、底部 6.0mm 以上、上部 4.5mm 以上とする。
- 2 材質は、アルミ製またはポリプロピレン製とすること。
- 3 容量は 1,500 リットル以上とし、水圧に対して変形及び水漏れの少ない構造であり、内部には有効な防波板を設け、車体屋根に点検用マンホールを設けること。
- 4 積水口は、水槽室両側に設け逆支弁付積水口（ストレーナー及び 65mm 差込付き式メス金具付）、ストップバルブ及び鎖付きキャップを取付けること。また、水槽への水補給条件（送水圧力）を標示すること。
- 5 オーバーフローパイプ及びドレンバルブを両側に本体下部まで取付け、走行時の漏水が最小となる構造とすること。
- 6 送水口は、ステンレス製 65mm ボールコックとし、車体の両側で操作できる構造で、水槽内の送水管逆支弁はステンレス製とする。
- 7 吸水口はステンレス製 90mm ボールコックとし、車体の両側で操作できる構造とする。
- 8 自己補給が可能であり、ポンプへの補給口並びに排水口が設けられ、配管には緩衝装置を施していること。
- 9 蛇口（口径 20mm）をポンプ操作部付近に配管し専用ホースを取り付けること

## 第9 薬液層及び混合装置

- 1 泡消火薬液槽の容量は 500L を 2 区分に分け、それぞれ単独で使用できるものとし、シャシフレームへの取付けは、振動、衝撃等による損傷、緩み等が生じないように確実に行うこと。なお、1 区画は水槽と連結させること。
- 2 泡消火薬液注入口、通気管、泡消火薬液の取出し口及び液量計を設けるとともに、底部に排液口を設けること。
- 3 液量計にはドレンバルブ及び空気抜きパイプを取り付けること。
- 4 マンホール及び点検用ハッチは、タンク上部の適切な位置に取り付けるとともに、空気抜き（自動吸排気弁等）を設けること。
- 5 ポンプの放水側と吸水側との配管に、バルブ及び遠隔操作型ポンププロポーショナーを設けること。また、ポンププロポーショナーのメタリングバルブと薬液槽を結ぶ配管にもバルブを設けること。
- 6 原液専用配管の材質はステンレス鋼管を用い、バルブ類は砲金製とすること。常時接液バルブはステンレス製とすること。
- 7 混合比率は、メタリングバルブにより調節できるものとし、混合液量範囲は 500L/min から 1,200 L/min とすること。（3%、6%併用）
- 8 収納スペースを確保するため、混合調整ダイヤル、ポンププロポーショナー送水バルブ、洗浄バルブは、ポンプ操作室に設けること。
- 9 ポンププロポーショナー装置に外部吸液口を設け、外部から直接吸引し、泡混合ができること。

## 第 10 圧縮空気泡消火装置

- 1 混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できること。また、空水比が5～10 倍の湿式泡と空水比が16～20 倍の乾式泡の2 種類の泡について、泡管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。
- 2 性能については、最大水流量 900L/min 以上、最大空気吐出量 4,500L/min 以上とし、泡流量計を左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に設けること。  
泡吐出圧力は 0.3MPa～1.0MPa、ポンプ圧力は 0.3MPa～1.5MPa まで無段階調整ができるものとし、吐出泡流量はスロットル操作に応じて任意に調整できること。
- 3 操作については、自動揚水システムと兼用とし、液晶ディスプレイ表示およびパネルスイッチにて操作できること。また、湿式泡、乾式泡及び泡原液濃度の切り替え操作は、ワンタッチで行えるものとし、放水中でも変更操作可能とすること。
- 4 使用時、規定回転数以上には回転が上がらないよう過回転防止装置を設け、コンプレッサーの油温の過熱時に警告灯及び警報を発すること。
- 5 混合装置は、水流量を感知し自動的に泡原液量の混合比を設定する電子式比例混合式とし、混合比は放水中でも変更可能とすること。
- 6 泡原液濃度の設定は 0.1～1.0%の無段階設定が可能な構造とすること。
- 7 泡流量ならびに水流量を液晶ディスプレイ内に表示すること。
- 8 圧縮空気泡放射中でも左右の吐水口のどちらか 1 口から通常放水ができること。

## 第 11 動力消防ポンプ

- 1 ポンプ性能 A-2 級  
規格放水圧力 0.85Mpa において 2,000L/min 以上  
高圧放水圧力 1.40Mpa において 1,400L/min 以上
- 2 ポンプは、エンジンの PT0 により駆動され、操作は運転席に設けられたレバーまたはスイッチにより行うものとする。
- 3 ポンプはインデューサー付 1 段ポリユートポンプとする。
- 4 材質は、本体をアルミ製としインペラーについては青銅鑄物とする。
- 5 グランド部は不凍液、作動油、グレーチングオイル等が不要な構造とし、軸先端部もグリスレスとする。

## 第 12 真空ポンプ

- 1 真空ポンプはピストン式とする。
- 2 注油装置を必要としない構造とする。
- 3 動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし、操作は押ボタン式スイッチとする。
- 4 非常用の別系統スイッチを車両右側（圧力計・連成計付）に設けるものとする。
- 5 真空性能は吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84%とすること。

## 第13 収納庫

- 1 扉は手動のアルミ製ハンドル式シャッターまたは開閉式扉とし、下部の開閉式扉については展開ステップ式とする。開閉に連動した照明を取付け、各扉の開閉状態は、キャビン内で確認できること。また扉のサイドに黄色の反射テープを張り付けるとともに、3面にLED式ステップ灯を埋め込むこと。
- 2 各収納ボックスは水抜き口を設け、必要に応じて排水パイプを取付けること。また、ボックス内及び水槽側面には結露対策を講じること。
- 3 内部は可動棚とし、資機材等が飛び出さない構造とする。
- 4 すべてのシャッター及び扉は、鍵付とすること。

## 第14 車両後部

- 1 後退警報器を設けること。(OFFスイッチ付)
- 2 電動ホースカーを取り付けること。電動ホースカーにあっては、ノズル、分岐管、逆延長媒介金具を取り付けることができ、上部に資機材を積載できるものとする。
- 3 外部電源から電動ホースカーを充電できるように蓋付コンセントを設けること。
- 4 昇降用収納式はしごを設けること。
- 5 天板上部の両翼を立ち上げ、天照灯(LED灯)を左右両側に必要数設けること。また、外側には左右両側に自衛噴霧装置を必要数設けること。
- 6 左右に、取り出し可能な収納箱を内蔵したアルミ縞鋼板収納庫を設けること。
- 7 天板には、2段手摺りを前方及び後方に設けること。
- 8 天板に収納ボックスを設けること。
- 9 天板は縞鋼板貼りとする。

## 第3章 消防専用電話装置等

### 第1 消防専用電話装置

- 1 現有車両の消防専用電話装置を移設すること。
- 2 必要なデータの入力を行うこと。
- 3 配線は、露出しない構造とし、貫通部、接続部等の保護、防水を施すこと。
- 4 電源は、スターターキーが「切」の状態であっても通電できるよう、切り替えスイッチを設けること。

### 第2 車両動態表示装置

- 1 現有車両の車両動態表示装置を移設すること。
- 2 必要なデータの入力を行うこと。
- 3 電源は、消防専用電話装置と連動すること。

## 第4章 塗装及び文字等

### 第1 塗装

- 1 鋼板部分の錆を落とし、油類の洗浄、下地処理等の必要な工程を完了させ、消防自動車用朱色及び当市が指定する色に吹付塗装を行い、十分な乾燥後、磨き仕上げを行うこと。
- 2 ホイールは塗装しないこと。
- 3 資機材収納庫は、アルミニウム部又はステンレス部を除き薄灰色とする。

## 第2 文字等

文字等は次のとおりとし、詳細な位置等は契約後当市との協議により決定する。

### 1 標識灯

書名 「佐野東1」  
字色 黒色  
書体 丸ゴシック体  
書き方 左書き

### 2 前面

書名 「佐野東1」  
字色 白色  
書体 丸ゴシック体  
書き方 左書き

### 3 側面

書名 「佐野東1」「佐野消防」「栃木県」  
字色 白色  
書体 丸ゴシック体  
書き方 左書き

### 4 後面

書名 「佐野消防」  
字色 白色  
書体 丸ゴシック体  
書き方 左書き

### 5 上面

書名 「佐C1」  
字色 黒色  
書体 丸ゴシック体  
書き方 左書き

### 6 その他

再帰性に富んだ反射材を用いて当市が指示する表示を施すこと。

## 第5章 資機材

別表4のとおり。

## 第6章 補則

- 1 承認取得による品質管理及び環境管理システムにて製作を行うこと。また、納車時に承認取得の写しを提出すること。
- 2 メーカーが公表する標準付属品は、全て納品すること。
- 3 本仕様書に記載のない事項で、当然必要と認める部分にあっては自主艱装すること。
- 4 当市と受注者は常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を以って協議し、変更を加え、これを解決するものとする。

別表1 装備品及び取付品

No	品名	数量	仕様規格等
1	バッテリー	1式	24V-100AH以上
2	オルタネーター	1式	24V-90A以上
3	キャブチルト	1式	電動油圧式（手動操作可能）
4	オイルパンヒーター	1式	10mコードマグネット式
5	全自動バッテリー管理機	1式	10mコードマグネット式
6	エアコン	1式	
7	後退警報機	1式	音声合成
8	前照灯	1式	LED
9	方向指示灯	1式	LED
10	霧灯	1式	LED
11	後退灯	1式	LED
12	後方灯	1式	LED
13	制動灯	1式	LED
14	路肩灯	1式	LED
15	車幅灯	1式	LED
16	サイドバイザー	2	運転席・助手席
17	サンバイザー	2	遠隔操作装置
18	集中ドアロック	2	
19	パワーウインドウ	2	
20	電動格納ミラー	1	助手席（メッキ）
21	サイドミラー電熱線	2	
22	籐装メインスイッチ	1	ACCキー連動
23	ナンバープレート枠	2	ステンレス製
24	泥除け	4	全輪
25	カーナビゲーション	1式	・HD液晶・内装メモリ32GB・BLUETOOTH・SDカード・USB・チューナーレス・ETC2.0・全国市街地図対応
26	周囲モニター	1式	3方向以上
27	ETC車載器	1式	・ETC2.0・音声案内カーナビ連動・内部突起対応型・アンテナ一体型・新セキュリティ対応車載器
28	ドライブレコーダー	1式	・記録媒体 microSDカード32GB class10
29	オーバーヘッドコンソール		
30	デジタル時計	1	電波式（キャブ内温度・湿度付）
31	油温計	1	
32	燃料計	1	
33	エンジンアワーメーター	1	
34	インフォメーションモニター	1	
35	メインスイッチ	1	
36	ITSコネクタ	1式	
37	その他		標準装備品及び機能上必要な物品

別表2 付属品

No	品名	数量	仕様規格等
1	フロアマット	1式	ゴム製
2	標準工具	1式	
3	非常用信号用具	1式	
4	車輪止め	4	中型ゴム製
5	スタッドレスタイヤ	1式	アルミホイール付、スペアタイヤ含
6	タイヤチェーン	1式	
7	リモコンキー	3	
8	予備キー	3	

別表3 取付品及び取付装置

No	品名	数量	仕様規格等
1	赤色警光灯		<ul style="list-style-type: none"> <li>・散光式赤色警光灯 1箇所</li> <li>・点滅式赤色警光灯</li> <li>フロントグリル 4箇所</li> <li>フロントバンパー前面 2箇所</li> <li>フロントバンパー側面 2箇所</li> <li>車体両側面上部 各3箇所</li> <li>車体後部左右 各1箇所</li> </ul>
2	作業灯		<ul style="list-style-type: none"> <li>・車体両側面上部 各2箇所</li> <li>・車体後部 4箇所</li> </ul>
3	標識灯	2	スモールライト連動、埋め込み式
4	電子サイレンアンプ	1	
5	電動サイレン	1	
6	集中スイッチ	1	
8	外部電源入力装置	1	マグネット式
9	AC100V	1	正弦波インバーター1,500W相当
10	消防章	1	
11	はしご昇降装置	1	
12	放水銃	1	
13	旗立て	1	
8	外部電源入力装置	1	マグネット式

別表4 資機材

No	品名	数量	仕様規格等
1	吸管	2	75mm×10m
2	吸口ストレーナー	2	ポリエチレン製
3	吸管ストレーナー	2	一式
4	吸管ちりよけかご	2	
5	吸管まくら木	2	バンド付

6	吸管ロープ	2	15m
7	消火栓金具	1	75mm メスネジ×65mm 差込メス
8	消火栓開閉金具	1 式	
9	吸管スパナ	2	
10	放口媒介金具	2	マルチコネクタ 呼び 65 メスネジ×呼び 65 差込オス
11	放口媒介金具	2	マルチスイベル 呼び 65 メスネジ×呼び 65 差込オス
12	給水管引上金具	1	
13	中継用媒介金具	2	
14	消防用井戸媒介	1 式	
15	貯水槽開閉金具	1 式	
16	放口媒介金具	2	
17	IWA 真空計	1	
18	三連はしご	1	三連梯子チタン製 日本消防梯子株式会社
19	カギ付きはしご	1	チタン製 日本消防梯子株式会社
20	ノズル	2	クアドラフォグノズル (呼び 40 0.5mpa)
21	ノズル	2	ボアテックスノズル
22	ノズル	1	CAN ノズル
23	ノズル	2	HEN ノズル HYDOR0138 BLADE160
24	ノズル	1	ダブコンブースト
25	発泡筒先	1	AFN-400VE 深田工業株式会社
26	泡ノズルアタッチメント	1	L X フォームジェット
27	泡ノズルアタッチメント	1	MX フォームジェット
28	異型媒介	4	65mm→50mm
29	異型媒介	2	65mm→40mm
30	異型媒介	4	50mm→40mm
31	異型媒介	2	50mm→65mm
32	逆延長金具	2	65mmオス×65mmオス
33	逆延長金具	2	65mmメス×65mmメス
34	積水口キャップ	2	65mmオスキャップ
35	分岐管	2	MC 分岐ボールバルブ (65・50 マルチ)
36	ディスクストレーナー	1	
37	スタンドパイプ	1	YONE 双口バルブ付スタンドパイプ (不動型)
38	ホース	10	65mm×20m (耐圧 1.6Mpa 低圧損)
39	ホース	10	50mm×20m (耐圧 1.6Mpa 低圧損)
40	ホース	10	40mm×20m (耐圧 1.6Mpa 低圧損)
41	ホース	2	65mm×10m (耐圧 1.6Mpa 低圧損)
42	ホース	2	65mm×5m (耐圧 1.6Mpa 低圧損)
43	パワーカッター	1 式	マキタ パワーカッター バッテリー×2 充電器×1 替え刃×2
44	チェーンソー	1 式	マキタ 電動チェーンソー バッテリー×2 充電器×1 替え刃×2
45	コンビツール	1 式	オグラクラッチコンビツール・充電器・バッテリー2 個
46	電動工具	1 式	マキタ インパクトドライバーセット

47	電動工具	1 式	マキタ ディスクグラインダーセット
48	電動式ブロワー	1 式	マキタ バッテリー背負い式
49	補水器	1 式	ウォーターチャージャー
50	ホース延長用資機材	1 式	電動格納式ホースカー YAMAHA クロスクイッカー プレーキ付、電動アシスト付収納資機材及び積載装置は別途協議
51	空気呼吸器	5 式	ドレーゲル AirBoss コネクト
52	照明器具（信号器付投光器）	1 式	LED 式信号器付投光器（KANEKO）、投光器三脚、投光器収納袋、蓄光型ケーブル 50m 巻取り式（補助ケーブル） ※収納袋入、発電機（200W 以上）HondaEU18 変換アダプター付
53	携行ライト	2 式	バルカン 180 ファイヤー米国防爆モデルセット
54	個人用ライト	5	ストリームライト サバイバー ピボット
55	ホースバッグ	8	消防用ホースキャリーバッグ（65mm×4、50/40×4）
56	ホースバンテージ	10	
57	グラスマスター	1	WGN-3 株式会社ワコー商事
58	コードリール	1	防雨型（30m）
59	防毒マスク	5	ろ過式呼吸器用保護具 交換用カートリッジ 8 個含む
60	ガス検知器	1 式	GXforce
61	耐熱服	3 式	エミュファイター上衣・ズボン・フード・手袋・半長靴・収納ケース付
62	絶縁用保護具	3 式	ゴム手袋・ゴム長靴（ヨツギ株式会社）
63	ホースブリッジ	2 式	大阪サイレン CB450
64	ワイヤ	2	ソフトタイプ（耐荷重 10 t 以上）
65	おの	1	レスキューアクセス DPX-2788
66	ハリガン	1	マルチブライ P 7
67	ガイドロープ	1 式	ポラリスガイドライン 50m ファスターバッグ
68	ホース除染器	3	ヨコイ PATWasher
69	指揮本部標識	1 式	現場指揮本部 のぼり旗タイプ
70	検電チェッカー	1 式	長谷川電機工業株式会社 電気自動車用検電チェッカー HEV-750D
71	風向・風速計	1 式	CPTDCL デジタル風速計 TL-300
72	距離計	1	ニコン Forestry0ro2
73	アルミボックス	1	甲板用
74	ベスト	5 式	G-V8 メッシュベスト
75	デジタルカメラ	1 式	OLYMPUS Tough TG-6
76	署活動系携帯無線機	3 式	八重洲無線 SR920U1 標準リチウムイオンバッテリー、ヘルカルアンテナ、キャリングケース、マイクスピーカー（防水）、ステンレスベルトクリップ及び充電器各 1 セット、登録料、機器調整料含む
77	ガス検知管	1 式	北川式検知管
78	圧縮空気泡消火装置消耗品	1 式	コンプレッサーオイル、エアフィルター
79	ハリガン&アックスセット	1 式	株式会社ライズ（レガシータイプ）
80	消火薬剤	4	マルチエース
81	プライバシー保護用シールド	1	クイックシールド・neo
82	熱画像直視装置	1 式	FLIR K65
83	簡易熱画像	1 式	SEEK
84	合図灯	4	JAZ-V55

85	現場見取図板	1	KS-50A
86	燃料携行缶	1	ボトルタイプ OPTIMUS 1300m l
87	携帯用拡声器	2	レイニーメガホン（噴流型防水メガホン）TS-713P
88	スコッチコーン	6	伸縮式
89	立入禁止テープ	5	テープタイプ
90	工具セット	1 式	KTC（SK4521P）
91	とび口	2	GFT20GFT180P（グラスファイバー製長鳶）
92	金てこ	1	標準型（かるがるカナテコバー）
93	剣先スコップ	1	ステンレス製
94	車輪止	2	黄色取手付型（黒プラ製/取手付）計4個
95	消火器	2	自動車用（ABC粉末20型）
96	ポンプ工具	1	冷却水ストレーナー用
97	補修用塗料	1 式	ボディ用及び綿板用